

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 教育-06 中学校運営事業						
主管課	教育総務課	関連課	部内各課・市立中学校				
分野名	学校教育						
目標 (目標値)	生徒が充実した中学校生活を送れるよう、教材、事務用品、管理用品等の購入、教材教具の修繕、体育器具の点検等を実施し、質の高い学校運営に努める。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人	・各年4月1日 (住民基本台帳) ・各年5月1日(普通学級)		
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数	3342人	3241人	3183人			
事業の対価	64,254	56,295	66,770				
運営資源状況	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	64,254	56,295	66,770			
	人員配置数	2.0人	1.6人	1.5人			
	人件費(千円)	15,528	13,115	13,261			
	協働のパートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	79,782	69,410	80,031			
	市民1人当りの経費(円)	448	392	452			
	対象者1人当りの経費(円)	23,873	21,416	25,143			
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名→	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	
	公立学校数	9	19	13	15	11	
	学級数	100	287	168	190	139	
	生徒数	3,342	10,320	6,083	6,545	4,910	
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
学校経理担当者会議	◎	目標値	4回	4回	4回	4回	4回
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	4回	4回	4回	4回	

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
中学校運営事業	64,254	中学校運営事業	52,025	今後の方向性	A	理由・手法	教材等の充実・更新が必要であるが、財源捻出は難しい
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	老朽化した教材教具・生徒の机椅子・高額備品類(体育器具・遊具等)の更新を、実施計画に基づき計画的な更新を実施する。更新期間の短縮、多様化する教育環境への対応など、学校運営コストの確保に苦慮している。											
課題解決のための取組	学校配当予算の要求を、各校の実情に応じて支出科目の配分ができるよう、柔軟に対応した。老朽化した物品修繕は、部品等一部交換を実施し延命化を図り、多くの物品が活用できる状況に努めた。また学校間の貸し借り等を実施した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決					
未解決の課題	学校運営に直接影響する事業のため、全庁的な予算編成方針による学校配当予算の減少への対応や経費の見直しが難しい											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	必要性、重要度など優先順位の見極めと、学校間の公平性を確保したうえでの柔軟な予算執行。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡ A				
※○事業完了												

評価者名

教育総務課担当課長

原田 幸子

